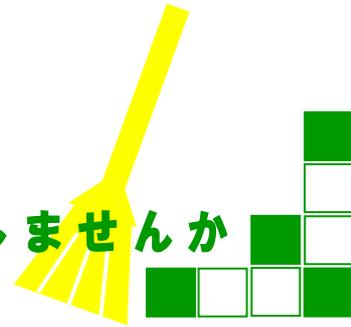




アダプト

プログラムに参加しませんか



みんなの手で、長崎のまちをきれいに

アダプトプログラムとは

アダプトプログラムとは市民と行政が協働で進める「まち美化プログラム」です。アダプト (ADOPT) とは英語で「〇〇を養子にする」の意味です。一定区間の公共の場所を養子にみたと、市民が里親となって養子の美化（清掃）を行い、市がこれを支援します。市民と行政が互いの役割分担を定め、両者のパートナーシップのもとで美化を進めています。

ハイウェイ網が発達している米国で、1985年、テキサス州運輸局が「アダプト・ア・ハイウェイ」を導入したのが始まりです。日本では1998年に始まり、全国に急速に普及しています。2016年3月の時点で、導入自治体数は366を超えました。

アダプトプログラム導入の効果

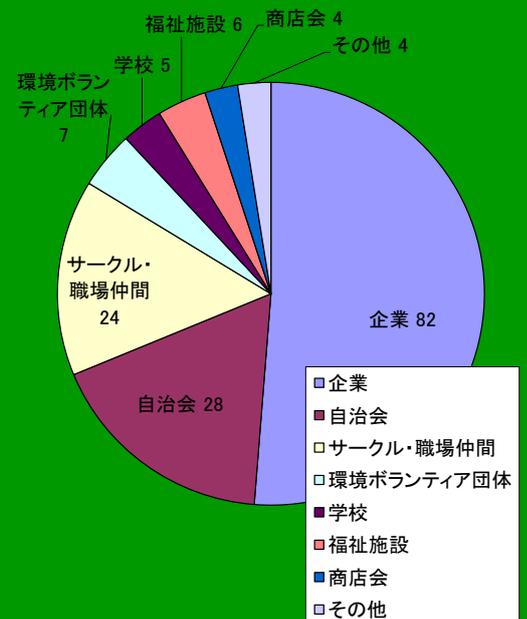
アダプトプログラムに里親として参加している全国の団体へのアンケートによると、導入の効果として挙げられたのは、次のとおりです。

- 1 まち美化への関心が高まった
- 2 散乱ごみが減少した
- 3 ポイ捨てしなくなった
- 4 地域への愛着が深まった
- 5 ポイ捨て防止の啓発になる

長崎市における里親団体の構成

本市では、平成31年3月31日現在で160の里親団体が、養子とした地域を清掃しています。

里親団体の内訳は次のとおりです。



市内の里親の皆さんからも「地域住民の美化意識が変わってきた」「清掃活動に地域の子どもたちが参加するようになり世代間の交流が生まれ、地域で子どもを育てようとする雰囲気が出来てきた」といった声が寄せられています。

市内に設置している アダプトサイン

里親の団体名と管理区域とを示したサインを市内71箇所に設置しています（平成31年3月31日現在）。サインの設置により里親の皆さんに活動意欲を高めていただくとともに、通行人のポイ捨て防止を図っています。また、行政主導ではなく市民から市民へ環境美化を呼びかける効果があります。



里親を募集しています

里親になると、月に1回程度市と取り決めた公共空間の空き缶・たばこの吸い殻などのごみを回収していただきます。平成31年3月31日現在、160の団体の皆さんが里親として、活動しています。

環境を守っていくためには、もっと多くの人の力が必要です。新しく里親になっていただけるかたを大募集します。

- 活動場所 道路・公園・河川などの公共空間
- 活動内容 月に1回程度、市と取り決めた場所の清掃活動（ごみ拾い、清掃、除草など）
- 市の支援内容

- ・環境美化に必要な物品（ごみ袋、軍手など）の清掃用品の支給や貸し出し
- ・ごみの収集（希望する場合には、清掃する1週間前までに地域清掃実施計画書の提出必要）
- ・希望者には、活動実績に応じてボランティアの名称を表示するサイン看板を設置（設置できない場合もあります。）
- ・活動時に事故が発生した場合の補償（ボランティア活動傷害保険に加入）

- 申込方法 環境美化活動を行う区域を定め、3人以上のグループを作り、まずは電話でご相談ください下さい。

里親となっている 団体の活動の様子

平日に地域の清掃活動中の助成会さん



アダプトサインの前で長崎女子商業高等学校生徒会さん



分別しながら清掃活動している長崎医療技術専門学校さん



歩道の落ち葉を清掃している（株）田浦組さん

